

改善計画書

施設名 多度保育所

(担当 田中 好江)

(作成年月日 令和8年2月28日作成)

(施設として やり続けること に優れている点)	1	豊かな自然を生かし、子どもたちがのびのびと十分に遊べる環境を整えている。						
	2	保育所での子どもたちの生活を保護者に丁寧に知らせ、家庭と共に子どもの育ちを支えている。						
	3	支援が必要な園児に対し、園全体で共有し対応している。						
	4	職員が働きやすい職場環境づくりに配慮しており、各職員が希望に沿った休暇取得が出来るよう努めている。						
	5							
		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール(人・予算・情報・手順等)	担当
すくすく なごむこと	1	遊具の劣化箇所による安全性の低下	安全性の確保と機能維持、快適性を向上させる。	1カ月 (継続的)	R8.3	R8.3	遊具の塗装の塗り直しを行う(担当課と相談して業者へ依頼済み)。今後については、損傷や劣化が軽微なうちに修繕を行うようにする。	所長・幼保支援課
	2	職員の挨拶の徹底	職員への周知、一人一人の意識を高める。保護者の来所を把握しやすくする。	1カ月 (継続的)	R8.3	R8.3	保護者への挨拶は職員全員で意識して行う。登降所の導線を見直し、コドモンの設置場所を変え、登降所時、保護者が見えやすいようにする。	全職員
	3	職員全員への情報共有不足	情報共有を徹底する。	3か月	R8.3	R8.5	全職員に対して会議録や朝礼ノートの閲覧を徹底するとともに、重要事項事は書面にて記録し、職員会議時に報告する。又、非常勤職員に対しては、口頭での報告時間を設け、その都度伝えるようにする。	所長・主任
	4							
	5							
工夫す ねばらぬこと	1	ヒヤリハットの対策や効果についての検証機会の設定	年度末にヒヤリハット事例を振り返り、対策の効果を検証する機会を設ける。	1年	R8.3	R9.3	年度末には一年間の取組みを振り返り課題を整理し、次年度の改善計画に反映する。	所長・主任
	2	防犯対策・保護者への啓発、周知	マニュアルに基づいた知識や行動の定着を図る。不審者対応訓練を継続して実施し、対応方法を職員間で共有する。保育所の防犯対策や対応について保護者へ分かりやすく周知し、家庭と連携した安全意識の向上を図る。	1年	R8.3	R9.3	年度の初めにマニュアルの確認を園内研修で行う。又、訓練の実施状況をクラス懇談会やほいくしょだよりで保護者に周知する。保護者の防犯に関する意見を把握し、保育所の取組みに反映させる。	全職員
	3	防犯対策・環境整備	環境整備により、安全な生活が出来るようにする(防犯カメラの設置、保育所周辺の草取り、暗所へのライト設置等)。近隣施設との情報共有及び互助関係を維持する。	1年	R8.3	R9.3	<ul style="list-style-type: none"> 防犯カメラを設置する(担当課と協議済み)。 保育所入り口付近の看板にライトを設置する。 保育所周辺の草取りを継続的に実施する。 地域関係機関(多度青少年育成会議)と情報共有を行う。 	全職員・幼保支援課
	4							
	5							
予算化 しない と でき ない こと	1	建物全体の老朽化による改善	子どもの安全を確保し、保育内容を充実させるために施設環境を整える。	5年	R8.3	R13	危険箇所や必要な保育環境備品を検証し、優先順位をつけ、計画的に要望、予算化する。	所長・幼保支援課
	2							
	3							
	4							
	5							